

つながって 未来へ^{あした} 「おたがいさま」のひろがるまちづくり



2021／11／10
まちづくりを考える日

「フードバンクしまね あったか元気便」の取り組みについて

フードバンクしまねあったか元気便
大木 理之



●必要な食品等を生活困窮者等に届けることを通して
「緩やかなつながりづくり」をすすめる「孤立」を防ぎ、自立を支える一助とします。

●取り組みを通して「『困ったとき』は、おたがいさまのまちづくり」、「地域の子どもは地域みんなで一緒に育てるまちづくり」の輪を広げ、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを市民の手ですすめます。

＊ 構成団体：JAしまね・生協しまね・グリーンコープ・県労働者福祉協議会（ろうきん・こくみん共済コープ・県生協連・連合島根）・松江保健生協・地域つながりセンター。

「フー・ドバンク」って、なにっ？！

- 「食品ロス」(箱の破損、規格外、余剰在庫、十分に安全に食べられるが賞味期限までに十分な期間がない、など)を寄贈してもらい、「生活困窮者」など必要としている施設や家庭に無償で食品を提供する取り組み。



- あったか元気便では

当面、松江市の小・中学校の①子どもを抱える「生活困窮世帯」(就学援助世帯)を対象に給食のない長期休校期間の春休み・夏休み2回・冬休みの年4回を基本にフードバンクを取り組みます。②「食品ロス」の問題に取り組み、その活用を通じてフードバンクへの参加・参画の輪をひろげます。

「就学援助」って？

援助の対象となる主な内容

①生活保護を受けている世帯

②準要保護となる世帯

＊住民税が非課税または減免

＊固定資産税が減免

＊国民年金保険料が1／2以上減免

＊国民健康保険料が減免または徴収猶予

＊児童扶養手当を受給している

「児童手当」「特別児童扶養手当」は対象外

＊生活福祉資金貸付制度の貸付を受けている

(例：松江市)

主な援助の内容

援助費目	対 象		年間支給額	備 考
入学準備金※4	小学校	就学予定者	40,600円	3月1日付け認定者のみ該当 新入学学用品費との重複支給なし
	中学校	就学予定者	47,400円	
新入学学用品費 ※4	小学校	1学年	40,600円	4月1日付け認定者のみ該当 入学準備金との重複支給なし
	中学校	1学年	47,400円	
学用品費 通学用品費	小学校	1学年	11,420円	月額：小1 1,030円 小2～6 1,240円 月額：中1 2,020円 中2・3 2,230円 上記月額×11ヵ月(8月除く)で換算し、 年額との差引額は3月分として支給
		2～6学年	13,650円	
	中学校	1学年	22,320円	
		2・3学年	24,550円	
通学費※1	バス・電車利用者		実費 (定期券購入代)	片道通学距離 児童：4km以上 生徒：6km以上
校外活動費	参加者		実費※2 (交通費、見学科)	遠足、宿泊研修等(泊有・泊無活動 各1回分)
学校給食費	全 員		現物支給	
修学旅行費	参加者		実費 ※2	参加者全員が一律に負担する、交通費・宿泊費・見学科・記念写真代等 [概算額：出発から約1ヶ月後] [精算額：学校での精算完了後] ◆在学中に1回のみの支給
学校病治療費 ※3	治療完了者 (医療機関に直接振込み)		実費	虫歯、中耳炎、ちくのう、結膜炎など 指定された疾病の治療費。受診前に 教育委員会学校教育課に医療券の 申請をすること。
体育実技用具費	中学校・購入者		実費	体育の授業に必要な柔道又は剣道の 用具一式(学校指定のもの)の購入費。 ◆在学中に1回のみの支給
ヘルメット 購入費※3	中学校・購入者		実費	自転車通学の生徒が通学に使用する ヘルメット(学校指定のもの)の購入 費。◆在学中に1回のみの支給

※1 校区外、区域外、国私立学校在籍者は除きます。

※2 国私立学校在籍者及び区域外就学者は、市立学校の前年度の支給平均額を上限とします。

※3 松江市立学校在籍者のみ支給します。

※4 入学準備金及び新入学学用品費は、他市区町村で受給した場合には支給しません。

※ 義務教育学校において後期課程の第7学年、第8学年及び第9学年をそれぞれ中学校第1学年、第2学年及び第3学年と読み替えます。

※ 申請時期、認定区分、就学状況等により支給費目、支給額の制限があります。

4人以上の家族には、10kgのお米と5kgの食品で合計15kgを目安に箱詰めしています。



3人以下の家族には、5kgのお米と5kgの食品で合計10kgを目安に箱詰めしています。

箱の中身は？ お米・インスタントラーメン・レトルトカレー・缶詰・パスタや生麺・お菓子など。
賞味期限が、利用者の手元に届いてから2ヵ月以上あるもの。
フードドライブ(食品の持ち寄り)で足りない食品は、購入して補充しています。
利用者のうち、宅配便が7割、受け取りが3割。
受け取りの方には、新鮮な野菜や賞味期限の少し短いものも説明の上、手渡しています。

平成30年度(2018年度) 島根県自治体別就学援助者数

利用校の児童・生徒数は、全市の児童・生徒数の3分の1超を占めています

(人)

自治体	児童・生徒数			①要保護児童生徒数			②準要保護児童生徒数			要保護・準要保護合計数(①+②)			
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	割合
松江市	10,831	5,388	16,219	131	75	206	1,316	794	2,110	1,447	869	2,316	14.3%
浜田市	2,553	1,322	3,875	11	9	20	550	310	860	561	319	880	22.7%
出雲市	9,712	4,775	14,487	33	23	56	1,172	675	1,847	1,205	698	1,903	13.1%
益田市	2,409	1,221	3,630	19	12	12	536	298	834	555	310	865	23.8%
大田市	1,602	840	2,442	11	4	15	446	248	694	457	252	709	29.0%
安来市	1,921	1,052	2,973	2	3	5	168	125	293	170	128	298	10.0%
江津市	1,014	561	1,575	6	4	10	143	70	213	149	74	223	14.2%
雲南市	1,817	966	2,783	4	4	8	189	106	295	193	110	303	10.9%
奥出雲町	524	284	808	2	2	4	60	29	89	62	31	93	11.5%
飯南町	228	90	318	0	0	0	43	16	59	43	16	59	18.6%
川本町	121	58	179	0	0	0	21	10	31	21	10	31	17.3%
美郷町	243	111	354	2	2	4	25	29	54	27	31	58	16.4%
邑南町	484	228	712	0	0	0	95	52	147	95	52	147	20.6%
津和野町	266	124	390	0	0	0	57	34	91	57	34	91	23.3%
吉賀町	221	133	354	0	0	0	40	24	64	40	24	64	18.1%
海士町	99	37	136	0	0	0	4	5	9	4	5	9	6.6%
西ノ島町	101	37	138	1	0	1	0	4	4	1	4	5	3.6%
知夫村	20	23	43	0	0	0	0	3	3	0	3	3	7.0%
隠岐の島町	635	346	981	1	1	2	105	79	184	106	80	186	19.0%
合計	34,801	17,596	52,397	223	139	362	4,970	2,911	7,881	5,193	3,050	8,243	15.7%

* 要保護・準要保護児童・生徒数は、県教育庁学校企画課。児童・生徒数は、「学校基本統計」(県政策企画局)より作成。

フードバンクしまね あったか元気便年次推移
 ～「ひろがり」から「つながり」へ 「つながり」から「支え合い」へ～

		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度(見込み)
利用者	のべ利用世帯数	84	392	761	1,100～1,150
	のべ家族数(人)	291	1,400	2,626	3,800～4,000
	食品提供総量(kg)	1,013kg	5,500kg	8,367kg	11,000～12,000kg
フードドライブ (食品の持ち寄り)	お米総量(kg)	520kg	3,606kg	5,631kg	6,700～7,300kg
	他の食品総量(kg)	90kg	662kg	3,231kg	4,160～4,530kg
	FD取り組み団体・企業等	2	4	28	60
応援者	のべボランティア(人)	69	273	439	500
	応援回数(回/年)	3	4	6	5
	募金額(円)	377,246	1,486,367	2,104,346	2,500,000
	直接費用(円)	447,971	1,738,346	2,118,380	3,000,000
	実施校	1校	3校	6校	11校

*FDは、フードドライブ.数字は、取り扱い窓口の団体・企業のみ記載。

*「直接費用」は、食品購入費、米保管料・精米、宅配送料、郵便費用、ダンボールなどの費用。

*現在の実施校の11校に通う児童・生徒の総数は、市内の小・中学校のおよそ1/3になります。

あったか元気便 2021年7月便 利用者世帯の横顔

①利用者世帯数、人員等

利用世帯数(軒)		222	
世帯総人員数(人)		779	
世帯あたりの人数		3.51	
内訳	両親なし祖父母	1	0.5%
	母子のみ	153	69%
	母子とその他の家族	27	12%
	父子	5	2%
	夫婦と子ども	32	14%
	夫婦とその他の家族	4	2%
		222	100%

* 2021年7月利用者

②利用者世帯の構成

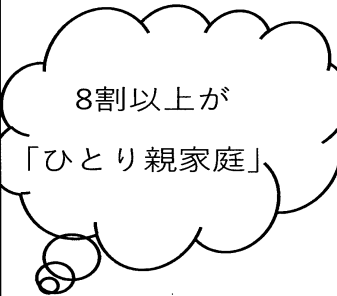
世帯人員	世帯数	割合
2人	49	22%
3人	79	36%
4人	54	24%
5人	23	10%
6人	11	5%
7人	3	1%
8人	2	1%
10人	1	0%
	222	100%

* 2021年7月利用者

*松江市：母子世帯数1,269、父子131。

*松江市:子ども1人52%、2人37.6%

(2015年国勢調査)



③こどもの年齢

区分	人数	割合
こどもの人数	464	100%
内訳 就学前	38	8%
小学生	181	39%
中学生	143	31%
高校生	71	15%
大学等	13	3%
不明	18	4%

*20歳までの子供対象

*2021年7月利用者

④利用率

	利用率
A中学校	67%
B中学校	49%
C中学校	50%
A小学校	73%
B小学校	65%
C小学校	40%
D小学校	65%
その他	*
	58%

*小数点第一位四捨五入

*2021年7月利用者



あったか元気便第一号
古志原小で「試行」2018年7月



松江市の教育長さんもボランティア参加



あったか元気便 正式発足
JAしまね・島根労福協・グリーンコープ・生協しまね・松江保健生協・つながりセンター



高校生や大学生の参加も



昨年のコロナ感染禍のなかでもパッキングに年間ボランティアのべ439人



勤め帰りの人や地域団体からも



SDGsの取り組みの一環 リコージャパン



お米やインスタント食品のドライブ(松江土建)



景品のなかからお菓子のフードドライブ 三栄ジャンボさん



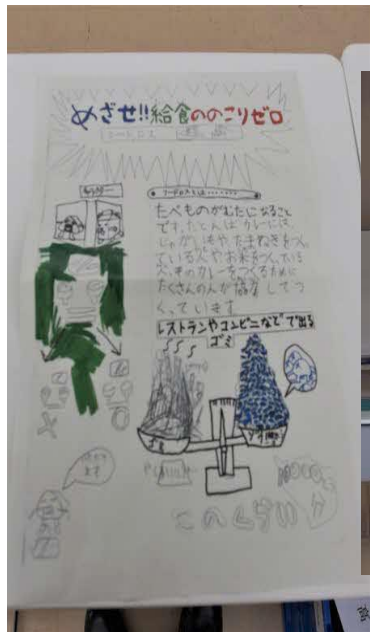
ボランティアやフードドライブの呼びかけ(第一生命)



校区の5つの公民館でも(城西公民館)



国際慈善団体キワニスさんから定期的な食品提供



「総合学習」のテーマに(古志原小6年生)



津田の農家の方からも朝どれの野菜が届けられました



島根県子どもの生活実態調査学習会



地域で「ちいさな応援バザー」(松江保健生協乃木支部)



「フードロス」について総合学習(県立松江北高2年生)



おやこ農耕交流(5月)、秋には稲刈り交流会(食育企画) 連合しまね主催

☆島根県子どもの生活に関する実態調査から（2019年）

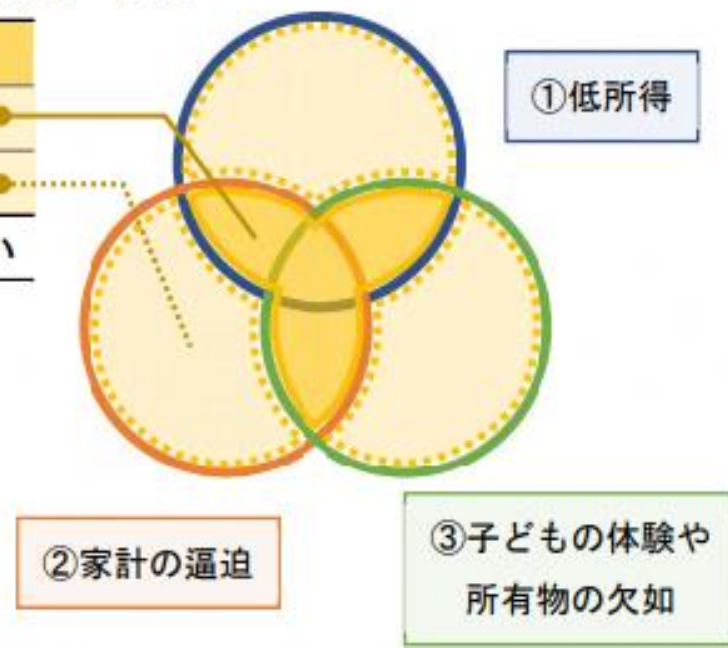
調査における「生活困難」の定義

- **低所得**：年間収入が200万円以下
- **家計の逼迫**：経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった、食糧・衣類を買えなかった経験がある（7項目のうち1つ以上該当）
- **子どもの体験や所有物の欠如**：海水浴、博物館、スポーツ観戦や劇場に経済的な理由で行けない子どもの指標（15項目のうち3つ以上該当）

小5、中2、高2の子ども
と保護者対象に調査。
回答率70.1%回答者
25,354人

●生活困難層（生活困窮層、周辺層）、非生活困難層の分類

生活困難層	生活困窮層＋周辺層
生活困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか1つの要素に該当
非生活困難層	いずれの要素にも該当しない



本調査において、世帯年間収入の中央値は500～600万円、平均世帯人数が4.7人であり、中央値（550万円とする）を平均世帯人員の平方根で除した値の50%は、127万円であった。200万円以下の世帯は、全て127万円以下となった。（調査の概要より）

「島根県子どもの生活に関する実態調査」

(報告書より抜粋)

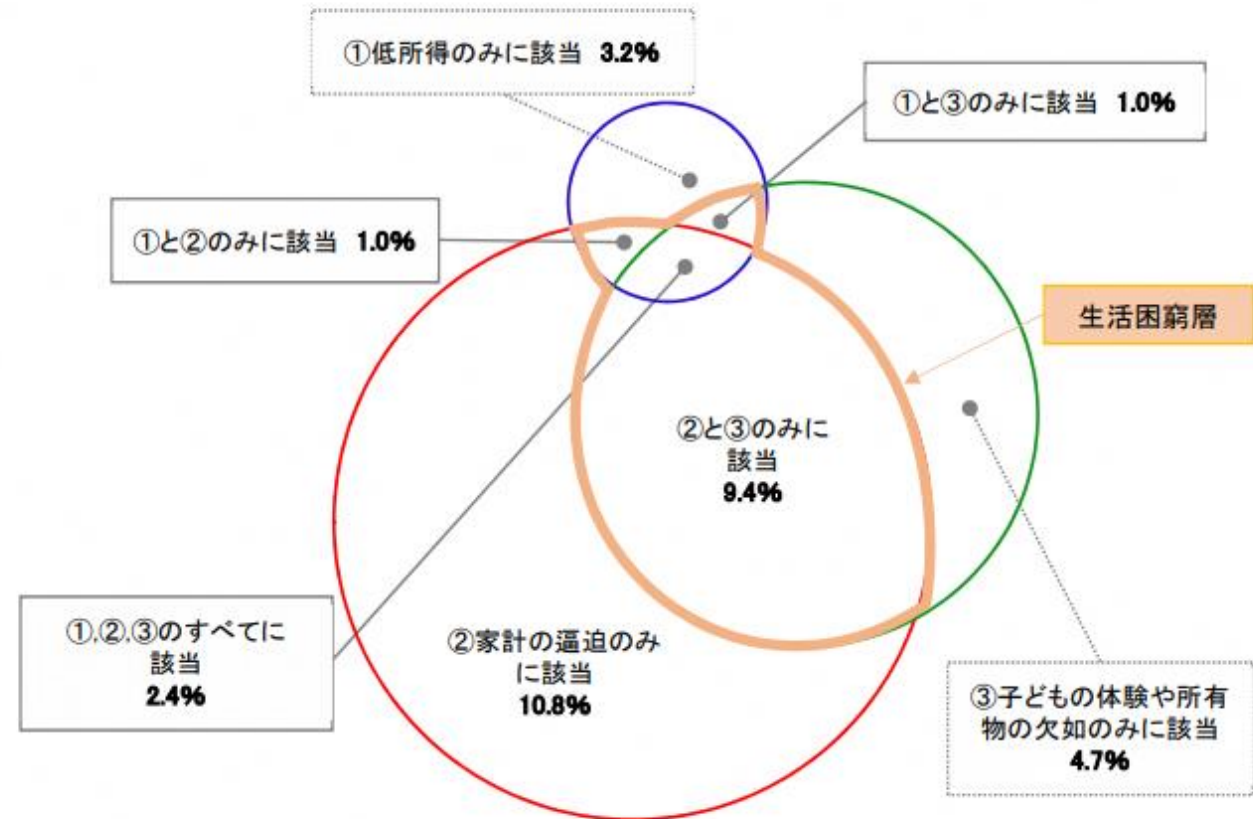
生活困難層を構成する3つの要素の中でも、「**家計の逼迫**」を示す円が特に大きい。

小学生 22.1%、中学生 24.0%、高校生 24.9%

☆生活困窮の状況

全体でみると、生活困窮層（3つの要素のうち2つ以上に該当）は13.7%で約7人に1人となり、**全国的な子どもの貧困率と同水準**であることが分かる。周辺層まで含む生活困難層は約32.4%と、約3人に1人の割合となっている。

	実数	割合
生活困難層	2,781	32.4%
生活困窮層	1,176	13.7%
周辺層	1,605	18.7%
非生活困難層	5,796	67.6%



子どもの貧困と学びの状況

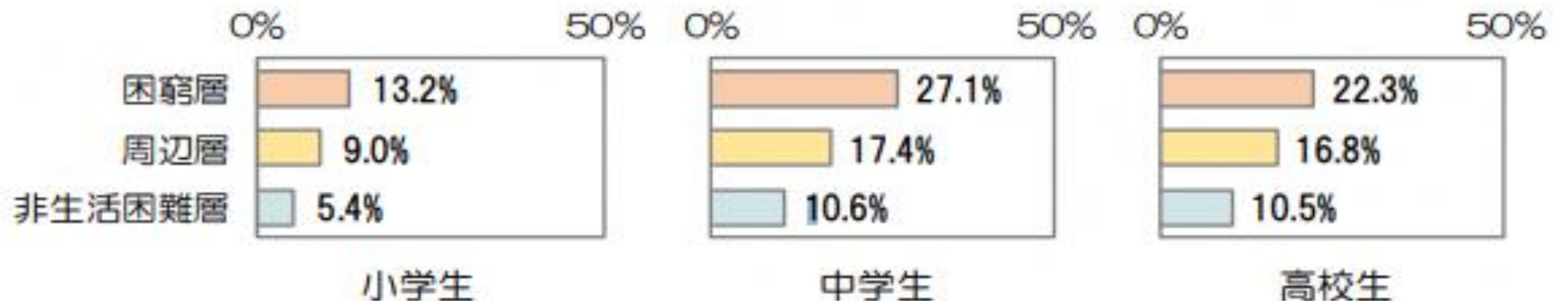
(「島根県子どもの生活に関する実態調査」報告書より抜粋)

・ 子どもの学びの状況

「勉強の理解度」の設問では、「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した子どもが、いずれの層、年代でも一定数いるが、生活困難層が非生活困難層に比べてその割合が高くなっている。

① 勉強の理解度

勉強が「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した児童・生徒の割合



子どもの貧困と健康状態

(「島根県子どもの生活に関する実態調査」報告書より抜粋)

③ 過去1年間に子どもを医療機関で受診させなかった経験

— 受診させなかった経験が「あった」と回答した保護者の割合



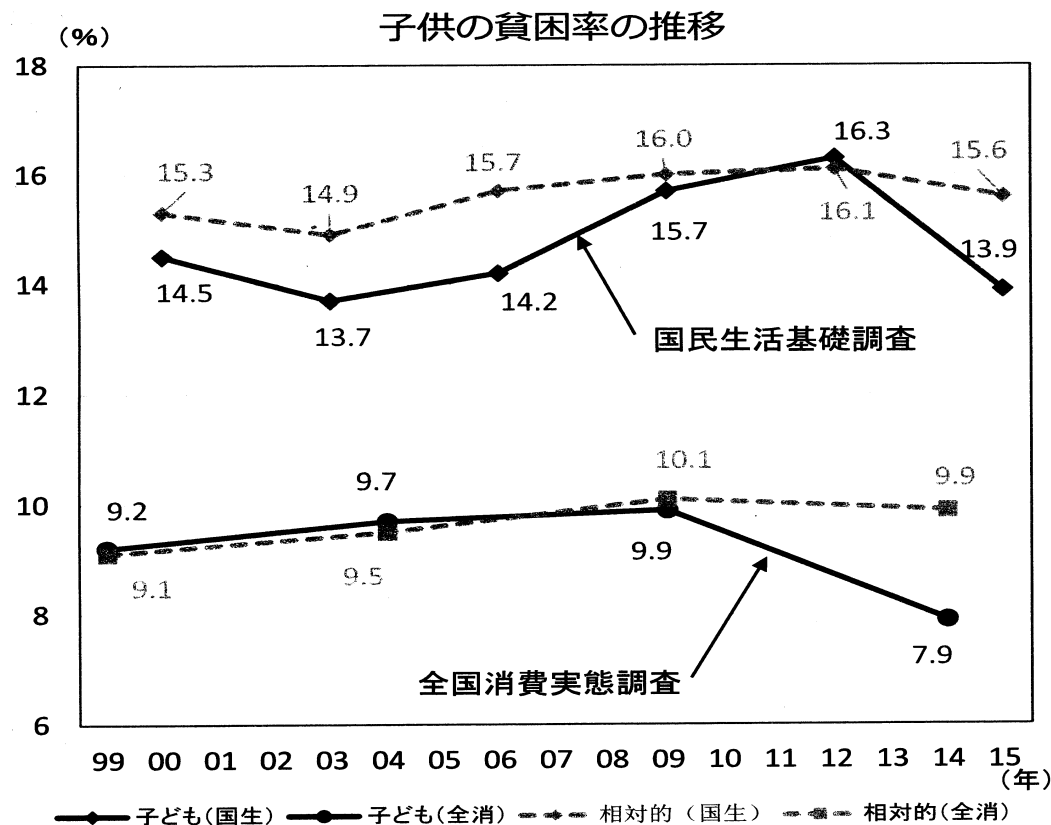
		多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかった	子どもが受診したがらなかった	公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を払うことができないと思った
小学生	困窮層	52.2%	—	—
	周辺層	54.0%	—	—
	非生活困難層	50.0%	27.6%	—
中学生	困窮層	38.6%	21.6%	23.9%
	周辺層	46.9%	23.4%	—
	非生活困難層	55.6%	27.8%	—
高校生	困窮層	34.1%	25.3%	20.9%
	周辺層	38.2%	39.5%	—
	非生活困難層	35.7%	39.1%	—

実態調査から分かること

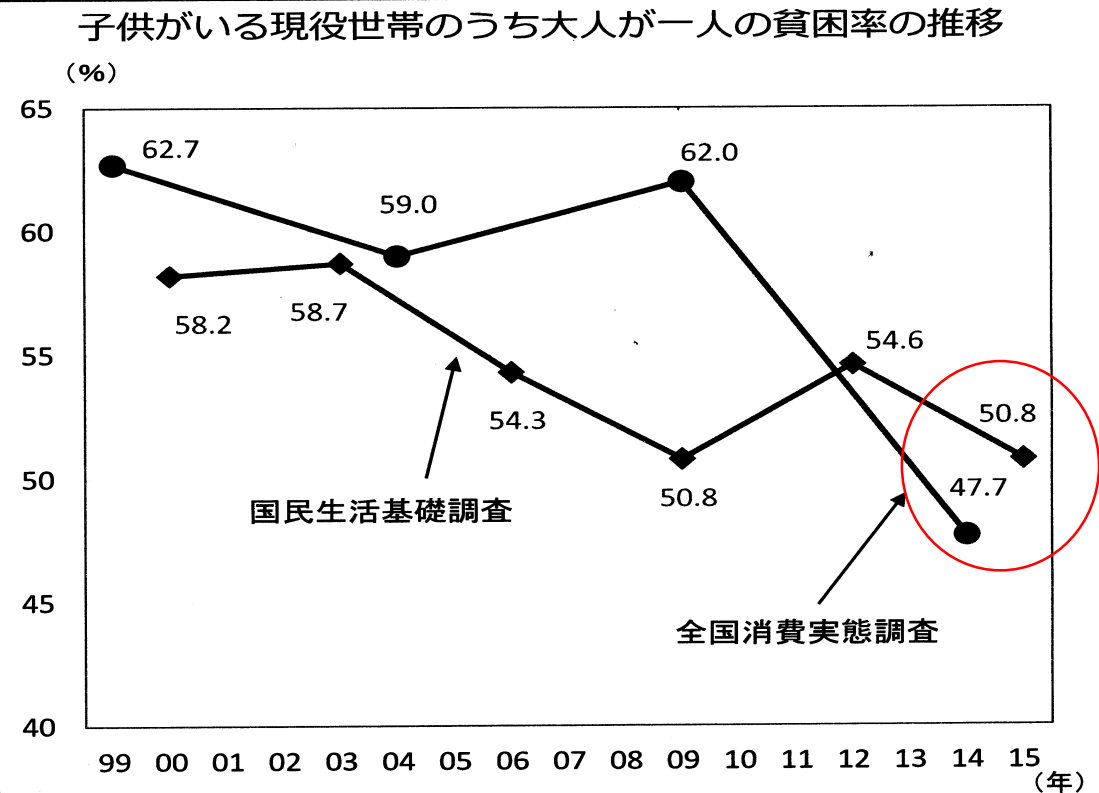
- 生活困難層の割合や経済的な困窮の特徴としては、全国的な水準と同じで、はっきりと子どもの貧困の特徴が表れている
- 困難層に見られる特徴として
 - ひとり親、非正規雇用、借家・公営住宅に住んでいる
親子ともに健康状態がよくない、周りに頼れる人がいない
 - ※経済的貧困と「孤立」の結びつき＝見えない貧困
 - 子どもの自己肯定感が低い傾向にある
 - 子どもの経験などが不足している ...など
- 制度の対象となる層の中に、制度を知らない人たちがいる
20%

子供の貧困率について①

- 国民生活基礎調査（厚生労働省）に基づく子供の貧困率は上昇傾向にあったものの、直近値は前回調査に比べ、2.4%ポイント低下。
- 全国消費実態調査（総務省）に基づく子供の貧困率が平成27年に初めて公開され、直近値は2%ポイント低下。
- 子供がいる現役世帯のうち大人が一人の貧困率は高い水準にある。



※厚生労働省「国民生活基礎調査」、総務省「全国消費実態調査」より作成



※厚生労働省「国民生活基礎調査」、総務省「全国消費実態調査」より作成



母子家庭18%で食事減

コロナ禍困窮浮き彫り

NPO調査

新型コロナウイルスの感

染拡大で、母子家庭の18・

2%が食事回数を減らし、

14・8%が1回の食事を減

らしていることが6日、

NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」の調査

あず・ふぉーらむ」の調査

で分かった。勤務先の休廃

業や労働時間の短縮で、元

から少ない収入がさらに減

少。学校給食の停止による

食費増などで、支出を切り

詰めても困窮状態にあるこ

とが浮き彫りとなった。

ひとりの親支援に取り組む

同法人の赤石千衣子理事長

は「ぎりぎりの生活だった

ところに新型コロナが追い

打ちをかけた。格差を固定

化しないためにも、日頃か

らの政府支援が必要だ」と

訴える。

7月にインターネットを

通じてアンケートを実施、

新型コロナによる母子家庭の食生活の変化

1回の食事が減った	14.8%
1日の食事回数が減った	18.2%
お菓子やおやつを食事の代わりに することが増えた	20.1%
炭水化物だけの食事が増えた	49.9%
インスタント食品が増えた	54.0%

※NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」のアンケート
より。約1800人が回答

シングルマザー約1800

人から回答を得た。食事の

回数や量が減ったただけでな

く、20・1%の世帯はお菓

子やおやつを食事の代わり

にすることが増えたと回

答。49・9%が炭水化物だ

けの食事が増えたとした。

また10%前後の世帯が家

賃や水道代、電気代などを

滞納し、36・8%の世帯で

は、一斉休校に伴う子ども

のオンライン授業に必要な

タブレット端末やパソコン

を持っていなかった。

自由記述では「子どもた

ちには2食で我慢してもら

い、私は1食が当たり前。

3カ月で体重が激減」「2

人の子どもを持つ30代」。

「子どもが学校に行けなく

なった。タブレット、パン

コンが無いため会話に入れ

ずイジメに近い感じ。子ど

もを守れていない自分が嫌

で嫌で死にたい」「3人の

子どもを持つ30代」と過酷

な体験が並ぶ。

70・8%が新型コロナで

雇用や収入に影響があった

とも回答。借金は2月と比

べ7月は11・2%の世帯で

増え、7月の平均額は約30

万円(約4万円増)だった。

紙面編集・湯原 信正

☆フドバンクしまね あったか元気便 利用者さんの声から……①

①開封するとたくさんの食べ物。その上に置いてあるメッセージに感動し、子どもと「すご～い。ありがたいね、感謝だね」と胸があったかくなりました。おかげさまで夏を乗り切ることができました。

②離婚して大変だと思うことはたくさんありますが、支えてくれる人たちがいるんだと、大変ありがたく思っています。自分で選んだ道なのに、他人に甘えていいのかと……。でも、一人で抱えきれない部分を甘えさせていただきたいと応募させてもらいました。

③主人が突然亡くなり2年が経とうとする中、次男が小学校卒業を控え一区切りつこうとしています。育ち盛りの子どもの食事、教育費に削れる部分はなく、「あったか元気便」は、我が家の助けとなり息抜きとなっています。感謝の気持ちが絶えません。

④小5の孫を娘の病死のためジジ、ババで育てていますが、うまく育てられるのか、大きな不安を抱きながら日々奮闘している次第です。ガンバルぞ！！

⑤この手紙が来るとホッとします。毎回すごく助かり、届く日が待ち遠しく楽しみです。すごく嬉しい気持ちになります。日々の生活を頑張ろうと実感するひとときです。

⑥フルタイムで働いてるため、帰宅が20時過ぎることがあります。そんな日は、レトルトを使わしてもらい時間短縮になり、子どもの宿題をみたり、のんびり話したり・・・と、そんな余裕ができるのではと。

⑦無事に卒業式を終えることができました。子どもたちの晴れ晴れとした様子に保護者も元気をもらったようでした。たくさんの方々に支えられていることを忘れずに、前向きに頑張りたいと思います。(母子5人家族)

☆フドバンクしまね あったか元気便 利用者さんの声から…… ②

⑧去年は遠慮しましたが、新聞を見て気持ちが変わりました。(母子家庭4人)

⑨こどもたちに“ありがたさ”をきちんと伝えます。

⑩ダンボールの中に手書きのメッセージが入っており、とても嬉しかったです。1人で頑張っていましたが、味方がいるような気持ちになりました。

⑪朝から夕方まで働いて……。レトルトを時には使い楽させてもらって……。美味しい、助かります。(箱の)底にお米があるのを見た時は、嬉しくて涙が出ました。本当に疲れたときに頼らせてもらいます。

⑫自分から申し出るのは躊躇してしまい、利用できずにいました。自分も頼ったり甘えたりしてもいいんだと思えて、心が軽くなりました。沢山の企業や地域の方々に助けていただき、本当にありがたく思います。

⑬あたたかいメッセージに涙が出ました。家計だけでなく、心まで支えていただき、この企画にすごく救われています。感謝でいっぱいです。(母子2人家族)

⑭あたたかいメッセージを添えていただき、涙が出そうになりました。こどもたちにも、こんなにもらったんだよと、一緒に箱の中をのぞいて大変喜んでおりました。「自分の選んだ道なのに、他人に甘えていいのか……」という文を見て同感しました。ですが実際に利用させていただき本当に助かりました。いつかどこかで恩返しができたらと思っています。(母子3人家族)

⑮朝から夜まで仕事でいないので「家にあるものを食べなさい」ということになりがちです。元気便が届いたときの子どもたちの明るい笑顔！私もやった！と声を上げて喜びました。気にかけてくれる人たちがいるという安心感がありがたいです。子ども2人とも入学です。明るい気持ちで春休みが過ごせそうです。(母子3人家族)

☆フードバンクしまね あったか元気便 利用者さんの声から・・・③

⑩直接顔を見て感謝を伝えることができず、せめてもの気持ちを伝えたくてメッセージを書いています。フードバンクだけでもありがたいのに一緒に温かな気持ちを受け取ることができ、また、頑張ろうと気持ちをふるいたたせています。

⑪「あっ！！米が全くない！！ピンチ😓」という、まさにその時、すごいタイミングでお米を戴き、本当に感謝！！しかもおいしい！！自然と拝みながら戴きました。本当に、本当にありがとうございました。（夫婦子3人）

⑫食費はギリギリです。収入が不安定で子どもは病気がちです。（夫婦子ども3人）

⑬給食があるのは、とても助かるのに長期休みの昼食は家計にとってもひびきます。中高生の我が家では食べる量も多く、すごくありがたかったです。食費も足りなくなることもあるため、これからも続けてほしいです。（母子3人）

⑭世の中、優しいんだなと思わせてくださり、ありがとうございます。（母子3人）

⑮主人が亡くなった時、小学生の卒業式を控えた長男が、今年高校受験で部屋にこもりがちな中、あったか元気便が届くと全員がわくわくした顔で集まってきます。いつも家族の笑顔の素を届けてもらっています。（母子4人）

⑯子供たちには、今までも、あまり贅沢な事をしてあげられずに申し訳ないと思っていますが、元気便が届くと「わあー」と嬉しそうに箱を開けている姿を見て、ささやかな幸せをいただいているなあと、いつも感謝しています。（夫婦5人）

⑰コロナで休業となり、再開できた今も未だ、この先のことが不安でいっぱいでした。そんなときに、あったか元気便だよりを読みました。沢山の方々が支えている活動と知り、心が温まります。（夫婦4人）

⑱中学の子供も今年最後になるので、もう元気便は来ないのでだろうなあと悲しみにくれています。この一年間たくさんのご支援感謝いたします。いつか恩返しできたらなと思っています。

☆フードバンクしまね あったか元気便 利用者さんの声から・・・④

②⑤私はぜんそくもち。毎日あまりたいした物食べてない。中学生の子は、食べてる。うちは、まず子ども中心です。親は、ちょっとしたもので大丈夫。(母子2人)

②⑥私は、もちろん娘の箱を開ける瞬間のあの目の輝きに、見ている私も嬉しく思うと同時に有り難い気持ちでいっぱいです。3年生になってお姉さんに少しづつなりましたが、仕事が遅くまで、晩ご飯の19時には間に合わない日が多く、淋しい思いを、たくさんさせていますが、元気便さんのおかげでなんとか頑張ることができ、2人で一緒に楽しく食事することに感謝しています。毎回、本当にありがとうございます。(母、小3娘)

②⑦息子と2人暮らしをはじめて数年が経ちます。特に長期休みの期間は、食事の負担が大きく悩んでいます。このような支援があることを知り、初めて申し込みさせていただきます。ひとり親で孤独を感じる中、たくさんの方々がご支援下さっていることを知り、とても嬉しく思います。(母子2人、小6)

②⑧仕事仕事で夏休みや土日休淋しい思いをさせていると思います。そんな時の「あったか元気便」親子共々わいわい楽しい時間を戴いております。ありがとうございます。(母子3人)

②⑨無職で仕事探し中です。子どもがアルバイトで生計中です。(父子7人)

③⑩子どもも障害があり病院に通ったりしていろので生活もたいへんなので、こんなサービスがあると、とても助かります。ありがとうございます。(母子2人祖父母)

③⑪昼夜タブルワークでした。コロナで夜の仕事はなくなり、収入は減りましたが、家族との時間は増え良いこともありましたが、やはり生活は楽ではありません。支援は本当に助かっています。箱を開ける度に何が入っているか楽しみです。本当にありがとうございます。(母子3人)

☆フードバンクしまね あったか元気便 利用者からの声……⑤

③② ずっしり重い箱を開けると沢山の食品とフードバンクに関わる方々の優しさや思いやりの心が、ぎっしり詰まっていて涙が出ました。娘が仕事を辞め所得が少ない中でも日々楽しく過ごしていけるのは、人の優しさがあるからだ実感しております。今回もお世話になりますよろしくお願いします。(母子4人)

③③ 夏休みの際、子供たちを置いて仕事と食事の管理は、ひとり親世帯にとって、本当に大変な毎日です。この様な支援は、本当に助かり感謝の思いです。食べ盛りの子どもの食費は家計の大部分を占めています。(母子3人)

④⑤ シングルファザーに対する支援ってあまりないですね。あったか元気便は、全く知らなかったけど、ありがたいです。(父子3人)

④⑥ 長期休み子どもを放置してしまっているのので、少しでもおいしいものを作ってあげたいと思っています。こんなサービスがあるとは知りませんでした。嬉しい限りです。よろしくお願いします。(母子3人)

④⑦ 両親働いていますが、生活は厳しく出費が辛いです。子どももバイトを探していますが、コロナ禍の影響でなかなかなく、苦戦している様です。節約、質素生活の毎日ですが、それでも生活できて生きていられることに感謝です。こんなに温かい制度を受けさせていただき本当にありがとうございます。(夫婦5人)

④⑧ うつ病で食品を買いに行くことができない時がある。(母子2人)

④⑨ 病気のため仕事を休んでいます。我が家には、とても助かります。ありがとうございます。(母子3人)

☆フドバンクしまね あったか元気便 利用者からの声……⑥

⑤⑩両親とも、働いていますが生活は厳しく出費が辛いです。子どももバイトを探していますが、コロナ禍の影響でなかなかなく、苦戦しているようです。不況のこのご時世に、こんなに温かい制度を受けさせていただき本当にありがとうございます。(夫婦5人家族)

51コロナ禍が続く中で、収入が安定せず先の見通しも不安です。その中であったか元気便が届くと家族が笑顔になれます。(家族4人)

52一つずつ上の学校に上げるのに時間もお金も手いっぱいのところ、助けていただき感謝しております。一人じゃない実感は、心の安心につながります。(母)

53ボランティアさんの温かい言葉をいただくと、辛いのは私たちだけじゃないんだ。見守ってくださる方や支援してくださる方がいて、私たちは幸せだなあとおもいます。気に掛けてくださる方がおられることが嬉しいです。(母)

54たくさんの団体、企業、ボランティアの方々に支えてもらっているんだと感謝の気持ちでいっぱいです。松江だけでしょうか、こんなにも母子家庭に優しいのは？自分たちも地域に恩返しが出来るとなりたいです。(母)

☆子どもたちの声・様子から・・・

①好きなお菓子とかも入ってたし、お母さんが、お昼ご飯の用意しなくても済んで、朝一緒にゆっくりできて、よかったです。(中学生)

②弟も自分もおかしが大好きなので、すぐになくなってしまいます。また、いっぱいはいっていただいとおもいました。
(中学生)

③たくさんのお菓子がとってもうれしかったです。おかあさんと一緒におやつが食べれてよかったです。(小3年生)

④たくさんのおやつ、米大好き、ありがとう。うれしかったよ。ぼくたちも、またおんがえしたいです。あつい中、ありがとう。そして、きふしてくれた人にありがとう。(小学生の子ども)

⑤いろいろたべものがあったておいしかったです。また、おいしいものがたべたいです。(母子2人家族 小2年)

⑥わぁーお菓子！！ラーメン！！って一つ一つに声をあげていました。(夫婦5人家族)

⑦元気便が届くたびに「サンタさんから！」と。子どもたちが笑顔で喜びます。(母子4人家族)

☆フ-ドバンクしまね あったか元気便 ボランティアさんの声から・・・

①大勢のボランティアさんとお会いするとやさしい人が存在していることを実感し、心が平穏になります。でも、困った人が減っていくことが本当の平穏なんではないでしょうか。

②いろいろな状況の人がいることを多くの人を知る機会になると思います。顔の知らない人同士思い合えるのは素敵。

③利用者が結構おられ、びっくりしました。一つでも多くの笑顔が各家庭に増えたらうれしいです。(高校2生)

④松江で、このような温かいプロジェクトが行われていることを、とても嬉しく思いました。箱に詰めた食品、メッセージを受け取った家族が笑顔になっていただけたら嬉しいです。」
(帰省中の大学生)

もつと身近に・・・もつと頼りに

フードバンクしまね あったか元気便 21年度事業計画から その①

- 全市への広がりをめざして、**NPO**へ移行をめざします。

利用者・地域社会からの信頼度の向上、「見える化」、「見せる化」の促進へ。NPO法人化をめざします。
冬休み便は11校に広がります。児童・生徒では市内の三分の一に。

- 「おかあさんのための『レスパイト（小休憩）応援』」事業 “もつと我が儘を言って下さい。”

「おかあさんだけの時間」、「子どもたちとゆっくり過ごすひととき」の提供
「ひとり親」が8割以上・・・仕事・家事・炊事・子育て・家計をひとりで背負う
* 有償ボランティア＋地域つながりセンター＋αで応援

- 「〇〇休み昼ごはん付き寺子屋（学習支援）」事業

長期休校期間に「宿題（学習）＋お昼ごはん」 おかあさんの悩みの「タネ」を解決
* 公民館＋民児協＋ボランティア＋フードバンクで応援

もつと身近に・・・もつと頼りに

フードバンクしまね あったか元気便 21年度事業計画から その①

○SMSを活用し「『ひろばに出よう』 「ささやき」 「つぶやき」 「ぼやき」 の交流

「孤立しがちな」おかあさんに必要な応援情報の発信。 「制度を知らない2割」
「子育て世代」のおかあさん同士の交流の「場」の提供。

○「『生活困窮世帯』のくらしと子育ての実態とニーズ」 （仮）調査研究

「島根県子どもの生活に関する実態調査結果」を踏まえて、「就学援助世帯」のくらしと子育ての実態と
求められる応援の「あり方」をさぐる。地域や行政へも発信。島根大学の研究者との共同で。

○「『支える輪』を、もっと大きく、もっと広く

「4つの応援(お願い)」＝お金・食品(お米)・時間(ボランティア)・おしゃべり
「支える輪」を、もっと大きく。松江市全体なら、ざっと今の4倍。島根県全体なら12倍
「利用者のひろがり」と「支える輪のひろがり」を同時、同水準に

ご静聴ありがとうございました。

*これに懲りずに、取り組みを聞いていただける場に呼んで下さいませ。

最後に「4つの応援」のお願いです。

夏休みの元気便がピンチです。予想以上の利用申し込みで8月のお米が足りません。どうぞ、お力添えを。



+



  つながる募金



フードバンクしまね あったか元気便
Amazon「ほしい物リスト」

